

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表
【防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更】（抜粋版）（1／7）

2026年4月28日
日本原子力発電株式会社

：今回回答 ：別途回答 ：回答済

管理番号		対応状況	説明資料	頁	確認事項		回答日	回答内容	反映箇所
37	241119-13	今回回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の不具合事象）	36	2024/11/19	地盤改良による周辺施設・設備への影響評価の結果について示すこと。	2026/4/10	補足説明資料29に周辺施設・設備への影響評価結果を示した。	補足説明資料29
41	250220-2	今回回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）	25	2025/2/20	セメント系、薬注系の地盤改良に対する室内配合試験の結果から妥当性を説明すること。	2026/4/10	STEP3及びSTEP4の審査会合にてセメント系、薬液注入の地盤改良の室内配合試験結果及びその妥当性を説明した。 また、補足27にて、その詳細を記載した。	補足説明資料27：P3-217～219 補足説明資料27：P3-170～200
65	250228-24	今回回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）	84	2025/2/28	地盤改良（薬液注入）のシリカ含有率の設定方法について、設工認の中で具体的に説明すること。（STEP4で）	2026/4/10	地盤改良（薬液注入）に対する要求品質（液状化強度比）の算定から、その液状化強度比を達成することを確認するための管理基準値の設定までの配合設計・配合試験の詳細を記載した。	補足説明資料27：P3-170～200
68	250228-27	今回回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）	65	2025/2/28	鋼管杭を打設する際のネガティブフリクション対策、および設計上の支持力の考慮について補足説明資料に反映すること。	2026/4/10	鋼管杭の周囲は均質置換土に置き換えられており、鋼管杭と粘性土層が接しないためネガティブフリクションは発生しない。 設計上の支持力の考慮は補足説明資料28に記載する。	補足説明資料27：P3-8
69	250228-28	今回回答		83	2025/2/28	粘性土の中にレンズ状に共存している砂質土層に対し、地盤改良がもれなく施工される理由について補足説明資料に示すこと。	2026/4/10	「レンズ状の狭な層の改良も確実に実施する」旨、記載した。	補足説明資料27：P3-154
71	250228-30	今回回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）	70	2025/2/28	今回の流動化処理土は、廃材ではなく品質管理がしっかりされた製品を購入する計画でよいか。また、配合試験に基づく仕様を補足説明資料に明記すること。	2026/4/10	「流動化処理土の母材は購入砂を使用する」旨、記載した。	補足説明資料27：P3-215
90	250722-1	今回回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）	9	2025/7/22	地盤改良の品質確認方法について、準拠する基準を明確にするとともに、準拠基準にしたがった試験位置、試験数量、品質確認方法等で、品質が確保できることを説明すること。	2026/4/10	地盤改良（薬液注入、セメント系）の品質確認方法について、準拠する基準及び試験位置・頻度等により改良品質を確認することで、品質が確保することを記載した。なお、薬液注入については、地中の工事であることから、確認頻度について準拠する基準の確認頻度を拡充することとした。	補足説明資料27：P3-73～75, 172 補足説明資料27：P3-79～84
91	250722-2	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）	9	2025/7/22	北基礎の中実鉄筋コンクリートについて、根入れの考え方（準拠基準等）を整理すること。 （10/14追加確認事項）水平支持力について、別途説明すること。	—	—	—
96	250722-7	回答済	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）	11	2025/7/22	巻立コンクリートについて、杭間の縁切り材（10mm）の仕様を示した上で、仮想ケーソンとして考慮できるとした考え方及び杭間ばねの考え方を説明すること。	2025/10/14 （2025/8/26）	目地材の幅が10mmと極めて小さいこと、巻立て鉄筋コンクリートは直上の頂鉄鉄筋コンクリートにより拘束されており、杭間の変形は極めて小さいと考えられること等から、杭間要素の影響は顕著でなく、現状のモデル化は妥当である旨記載した。	資料2：P19 （10/14）補足説明資料に仮想ケーソンの扱いを詳細に記載すること。
98	250722-9	回答済		19	2025/7/22	一次元地盤応答解析を用いて算定する津波＋余震重畳時の荷重及び変位について、解析モデル、算定方法を補足説明資料に記載して説明すること。また、上部工の余震時荷重（慣性力、動水圧）について、一次元地盤応答解析の地表面の加速度を用いて算定していることを追記して説明すること。	2025/10/14 （2025/8/26）	余震による一次元地盤応答解析の土中モデルと解析結果で得られた地表面応答加速度、地盤剛性及び強度、地盤変位に基づき、三次元フレーム解析における設計震度、地盤バネ係数及び上限値、応答変位を設定する旨を明記した。	資料2：P24, P34～P36 （10/14）補足説明資料に時刻の選定の考え方を記載すること。
104	250722-15	回答済		30	2025/7/22	「有効応力の変化に伴う構造物の周辺摩擦力の変化は、有効応力の関数である地盤の剛性及び強度の変化によって自動的に考慮される」とした記載について、構造物の具体的な施設及び周辺摩擦力の具体的な内容を明確にした上で、記載を平易な表現に見直すこと。	2025/10/14 （2025/8/26）	せん断方向の応力上限値は、ジョイント要素の面直応力（有効応力）と原地盤の強度特性により、解析上自動的に決定すると平易な表現に見直した。	資料2：P40, P43 （10/14）補足説明資料では記載を充実化すること。
113	250805-6	別途回答	資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）【補足説明資料】	113	2025/8/5	断面力図のT.P.-50m付近に大きな曲げモーメント等が発生している要因を確認して説明すること。	—	—	—
114	250805-7	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）	18	2025/8/5	耐震モデルと耐津波モデルのモデル間の整合性について説明すること（荷重条件を合わせた場合、同様の挙動を示すこと等）。	—	—	—
121	250805-14	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）	全般	2025/8/5	断面検定における鈎合い鉄筋比に関する確認結果、ヤング係数比の考え方を適用基準等を用いて説明すること。 （10/14追加確認事項）N=15を採用している経緯を説明すること。	—	—	—
138	250807-8	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）	25	2025/8/7	FLIPについて、重ね合わせ要素の適用が既工認と異なるため、適用性を先行実績も踏まえて資料化して説明すること。	—	—	—
141	250807-11	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）	—	2025/8/7	巻き立てコンクリートと鋼管杭の一体化の確保について、構造を示したうえで考え方を補足説明資料に記載すること。	—	—	—
146	250826-1	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）	21	2025/8/26	本震後の地盤の剛性低下を耐津波設計時の地盤バネ2に考慮しているが、本震基準地震動S ₁ による収束剛性値と静弾性係数による剛性の関係を確認しておくこと。	—	—	—

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表
【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(2/7)

■：今回回答 □：別途回答 ■：回答済

管理番号		対応状況	説明資料	頁	確認事項		回答日	回答内容	反映箇所
151	250826-6	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	46	2025/8/26	「鉄筋の腐食」について補足情報を追加すること(資料2に追加)。	—	—	—
154	250826-9	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	36	2025/8/26	中実RCの17段筋や頂版RCのSD685の定着についてSTEP4にて詳細を説明すること。	—	—	—
161	250909-4	別途回答	資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	11	2025/9/9	SD685の配筋についてコンクリートの表面との距離が小さく、水平方向のコーン破壊的なことが発生しないか確認すること。	—	—	—
162	250909-5	別途回答	資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	11	2025/9/9	杭頭結合部の評価として、一般的な照査項目についても照査すること。	—	—	—
165	250909-8	別途回答	資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	39	2025/9/9	補足説明資料に記載する耐震設計の解析モデルについては、本図に加えて前回資料のような詳細なモデル化の資料を掲載すること。	—	—	—
169	250909-12	別途回答	資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	73	2025/9/9	単杭とケーソン基礎の算定式を追記すること。	—	—	—
172	251014-1	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	19	2025/10/14	(コメント98関連)耐津波設計において、上部工の慣性力を一次元地盤応答解析の地表面加速度から設定している点について、補足説明すること。	—	—	—
192	251105-4	別途回答	資料1-1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	11	2025/11/5	SD685鉄筋の引き抜き試験の内容や結果について、今後説明すること。	—	—	—
196	251105-8	別途回答	資料1-1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	16	2025/11/5	頂版鉄筋コンクリートで用いるSD685鉄筋のひずみについては、地震の主方向と津波の方向がγ方向に揃ったケースの結果についても今後説明すること。	—	—	—
268	260126-2	今回回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料29(防潮堤(鋼製防護壁)の周辺施設への影響に関する補足説明)12/22提出版	4	2026/1/26	「b. 設備の強度評価」の津波荷重に対する評価の必要性についてわかりやすく記載すること。	2026/4/10	施設及び設備の津波による強度評価を実施しない理由をわかりやすく記載した。	補足説明資料29:P1-17~1-19
291	260206-9	今回回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料29(防潮堤(鋼製防護壁)の周辺施設への影響に関する補足説明)1/26提出版	50	2026/2/6	「表5.4-4 構造物の変形性に対する評価結果比較」において、z方向の変位量が増えた理由を考察すること。	2026/4/10	地盤改良体の追加により貯留堰取付護岸のz方向変位が増えたことについて分析し、図と共に説明を加えた。	補足説明資料29:P参考5-1,5-2
311	260213-14	今回回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料27(防潮堤(鋼製防護壁)の設計変更に係る補足説明)1/21提出版	120	2026/2/13	表「地盤改良(薬液注入)の適用性、改良品質の不確かさの要因の抽出結果(その1)」の一次評価の結果において検討不要と表示しているグレーハッチング箇所については、何を根拠として検討不要と判断しているのか、記載を充実すること。	2026/4/10	抽出したリスク事象は、本工事の現場条件等に基づき対策の要否を検討しており、対策が必要なものを「対策要」として改めて整理しなおした。	補足説明資料27:P3-162~166 補足説明資料27:P3-215~216
317	260213-20	今回回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料27(防潮堤(鋼製防護壁)の設計変更に係る補足説明)1/21提出版	139	2026/2/13	地盤改良(薬液注入)における配合設計の最大せん断応力比から薬液濃度の仕様を決定するプロセスについて、誰にでも分かるように概念図を作成すること(有効応力解析結果から最大せん断応力比の抽出→原地盤の液状化強度比の確認→不足分の液状化強度比を補うための薬液注入仕様の決定)。	2026/4/10	地盤改良(薬液注入)の薬液濃度の仕様を決定するプロセスについて、配合設計フローやイメージ図をあわせてわかりやすく記載した。	補足説明資料27:P3-168~200,229
320	260220-3	今回回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料27(防潮堤(鋼製防護壁)の設計変更に係る補足説明)1/29提出版【1章】	5,10	2026/2/20	地中連続壁で観察された「スライム・安定液を巻き込んだコンクリート」とはどのようなものか、補修の要否等について補足での記載を検討すること。	2026/4/10	「スライム・安定液を巻き込んだコンクリート」に関する記載を注釈で追記した。補修の要否については、コンクリート標準示方書(2012)に基づき、スライム・安定液を巻き込んだコンクリートの補修の対象となるものではない旨を記載した。 なお「補修対象となるものでない」と表現すると「中実部側の壁面の平滑化」と混同しやすいことから、「したがつて～」以降の文章を削除させて頂きたい。	補足説明資料27:P1-7

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表
【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(3/7)

：今回回答 ：別途回答 ：回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所
326	260220-9	別途回答	7	2026/2/20	中詰鉄筋コンクリートは鋼製防護壁のどの高さまで設置されているのか、またその設定根拠について説明すること。	—	—
327	260220-10	別途回答	11	2026/2/20	図2.2-10の鋼製防護壁と鋼製防護壁基礎の接合部の概念図について、頂版鉄筋コンクリートを透過表示させるなどして図を修正すること。	—	—
328	260220-11	別途回答	18	2026/2/20	根巻き鉄筋コンクリートが他部位と結合した構造なのか構造上の詳細を示すこと。また、解析評価においてその重量等が考慮されているか等説明すること。	—	—
329	260220-12	別途回答	68	2026/2/20	耐震設計のうち2次元有効応力解析モデルにおける柔梁を設定している理由や断面諸元について説明すること。	—	—
330	260220-13	別途回答	82, 83	2026/2/20	耐震設計のうち2次元有効応力解析モデルにおける鋼製防護壁の梁要素の断面諸元について説明すること(断面形状が変わる鋼殻をどのように一本棒でモデル化しているか、その物性はどのように設定されているか、屈曲部の高さの根拠等)。	—	—
331	260220-14	別途回答	87	2026/2/20	耐震設計のうち3次元動的フレーム解析モデルにおける鋼製防護壁の格子状の梁要素の断面諸元について、耐津波設計のモデルもあわせて説明すること。	—	—
332	260220-15	別途回答	全体	2026/2/20	補足説明資料の章立てが深いため、別途、章立てリストを作成すること。	—	—
333	260227-1	別途回答	3	2026/2/27	「鋼管杭頭部は巻立て鉄筋コンクリートとスタットにより一体化」は、「鋼管杭頭部は巻立て鉄筋コンクリートと鋼管杭とをスタットにより一体化」に適正化すること。	—	—
334	260227-2	別途回答	6	2026/2/27	図2.2-4の構造図で、鋼管杭の中心線により図がわかりずらくなっているため、中心線の表示は削除するなどして適正化すること。	—	—
335	260227-3	別途回答	9	2026/2/27	地表面レベルがわかるよう地盤のマークなどで図中に表示すること。	—	—
336	260227-4	別途回答	10	2026/2/27	アンカーボルトが鋼製防護壁のプレートにボルトで取り付けられ一体化している構造であることを記載すること(4章などの関連箇所に記載してもよい)。	—	—
337	260227-5	別途回答	15	2026/2/27	鳥観図については概ね正確に適正化すること(頂版鉄筋コンクリートの幅等)。	—	—
338	260227-6	別途回答	—	2026/2/27	アンカーボルトを設置するベースプレートも構造体の一部であることから健全性について確認すること。	—	—
339	260227-7	別途回答	17	2026/2/27	図2.2-17を大きく表示すること。	—	—
340	260227-8	別途回答	18	2026/2/27	耐震評価で鋼製防護壁は水平2方向を考慮する旨の記載があるが、女川では鋼管杭基礎の端部でも水平2方向の評価を行っているため、他プラントの整合性の観点で評価を行うこと。なお、断面力を1:1で簡易に評価してもよい。	—	—
341	260227-9	別途回答	19	2026/2/27	表2.3-1の要求性能と設計評価方針で、基本設計方針列に上部工だけでなく下部工の記載もおこなうこと。また、性能目標の列の「主要な構造部材」という表現は適正化すること。	—	—
342	260227-10	別途回答	23	2026/2/27	図2.3-2鋼製防護壁の詳細設計フローで、「鋼製防護壁壁基礎の設計」を適正化すること。	—	—
343	260227-11	別途回答	34	2026/2/27	アンカーボルトの材料が“SM520B相当”となっているが経緯を説明すること。	—	—
344	260227-12	別途回答	59	2026/2/27	“検討ケース”について、どのような内容なのか追記すること(参考での記載でも可)。	—	—
345	260227-13	別途回答	68	2026/2/27	解析モデルに対する説明書きは、過去の審査会合資料と同等にすること。	—	—
346	260227-14	別途回答	87	2026/2/27	図4.9-29鋼製防護壁の解析モデルに、x, y, z方向の表示を追記すること。また支承条件を記載すること。	—	—
347	260227-15	別途回答	90	2026/2/27	巻き立て鉄筋コンクリートの複合断面の照査で用いている解析プログラム名を追記すること。また、鋼管杭と鉄筋コンクリートの複合断面への適用性についても、他サイトを参考にしてV&V資料への反映を検討すること。	—	—
348	260227-16	別途回答	91	2026/2/27	補剛材がどこに設置されているかおおまかに記載すること。	—	—
349	260227-17	別途回答	94	2026/2/27	接合部に作用する力に対して、水平鉄筋や鉛直鉄筋がどのように抵抗するのか、評価プログラムや評価法について説明すること。	—	—
350	260227-18	別途回答	14	2026/2/27	図2.2-16接合部構造図(F-F断面)においては、“根巻き鉄筋コンクリート”の表示が正しいのか確認し適正化すること。	—	—

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表
【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(4/7)

 : 今回回答
 : 別途回答
 : 回答済

管理番号		対応状況	説明資料	頁	確認事項		回答日	回答内容	反映箇所
351	260227-19	別途回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料28(防潮堤(鋼製防護壁)の耐震・強度計算書に係る補足説明) 1/29提出版	81, 82	2026/2/27	2次元有効応力解析モデル図の鋼製防護壁の縦梁がどのような設定条件になっているか、特に鋼製防護壁の断面形状の変化をどのようにモデル化に反映しているか説明すること。	—	—	—
352	260227-20	別途回答		87, 88	2026/2/27	3次元フレーム解析の鋼製防護壁のモデル化において、どのような断面性能を設定しているか、また、抽出した発生断面力を照査時にどのような処理を行っているか説明すること(部材剛性で割り戻して照査なのか)。	—	—	—
353	260227-21	別途回答		95	2026/2/27	アンカーボルトの照査においては、水平2方向の断面力が考慮されていることを記載すること。	—	—	—
354	260227-22	別途回答		237	2026/2/27	断面力が最も厳しい時刻の断面力図を記載していることについて説明書きで追記すること。	—	—	—
355	260227-23	別途回答		全体	2026/2/27	地震動と検討ケースの組合せによる照査値表については、何を根拠に地震動を選定し横串を通して評価したのか、わかるように記載すること。	—	—	—
356	260306-1	別途回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料28(防潮堤(鋼製防護壁)の耐震・強度計算書に係る補足説明) 1/29提出版	7, 88, 518, 527	2026/3/6	鋼製防護壁においては、水平隔壁、鉛直隔壁、内部隔壁、外面鋼板の4つの名称で記載されているが、その構造や場所をわかりやすく明示すること。また、鋼製防護壁の主部材の評価においては、この4つに対して評価結果を記載すること。	—	—	—
357	260306-2	別途回答		14, 15, 94	2026/3/6	既工認との整合・説明の充実の観点で、接合部の役割・構造について、既工認にならった説明を充実させること(拡大図、干渉確認、正しい断面表現など)。	—	—	—
358	260306-3	別途回答		26	2026/3/6	「SHBS700(W)」→「SBHS700(W)」の記載の適正化すること(2章側も適正化)。	—	—	—
359	260306-4	別途回答		87, 211	2026/3/6	鋼製防護壁の評価において、水平震度を考慮する考え方を記載すること。また、両ページの繋がりがわかるようすること。	—	—	—
360	260306-5	別途回答		114	2026/3/6	ひずみのスケール図が重複しているため削除すること。	—	—	—
361	260306-6	別途回答		114	2026/3/6	ひずみ分布図について、既工認では大きなひずみが見られていたが、構造変更後に見られなくなった理由を説明すること。	—	—	—
362	260306-7	別途回答		152	2026/3/6	過剰間隙水圧比が0.95以上となる範囲が既工認では見られたが、構造変更後にあまり見られなくなった理由を説明すること。	—	—	—
363	260306-8	別途回答		192	2026/3/6	護岸の加速度分布について、既工認と比較して様相が異なる理由について説明すること。	—	—	—
364	260306-9	別途回答		211	2026/3/6	鋼製防護壁の耐震評価モデルに入力する設計水平震度はどのように算定したものか、また、鋼製防護壁の耐震評価モデルで得られる震度が、入力する設計水平震度と比較して考察すること。	—	—	—
365	260306-10	別途回答		217	2026/3/6	評価結果総括表枠外の不要な単位記載を削除すること。	—	—	—
366	260306-11	別途回答		287	2026/3/6	照査値表で、選定した地震動に対して横串を通した根拠(地盤のぼらつきケースを実施した根拠)及び、追加検討ケースのルールを明確にすること。	—	—	—
367	260306-12	別途回答		320, 322, 428	2026/3/6	地震動(Ss-11～Ss-22)の記載漏れを修正すること。	—	—	—
368	260306-13	別途回答		368	2026/3/6	巻き立て鉄筋コンクリートの構造図で、せん断補強鉄筋がどれか、せん断補強鉄筋の規定上のルールに基づいているか説明すること。	—	—	—
369	260306-14	別途回答		393, 423	2026/3/6	杭頭接合部の評価において、仮想RC断面の定義や断面図等を用いた照査方法、評価プロセスを記載すること。	—	—	—
370	260306-15	別途回答		424	2026/3/6	頂版鉄筋コンクリートの評価において、剛域やモーメント分布イメージ、照査範囲等、審査会合で示したような図面もあわせて記載すること。	—	—	—
371	260306-16	別途回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料28(防潮堤(鋼製防護壁)の耐震・強度計算書に係る補足説明) 1/29提出版	439	2026/3/6	頂版鉄筋コンクリートの軸力図で、中実鉄筋コンクリート範囲の外に大きな軸力が発生している理由について説明すること。	—	—	—
372	260306-17	別途回答		513	2026/3/6	鋼製防護壁の板厚構成図について、鋼板の板厚や材質の表示を凡例を用いるなどして見やすくすること。	—	—	—
373	260306-18	別途回答		526	2026/3/6	中詰め鉄筋コンクリートと鋼殻の一体化のためのスタッド評価においては、評価プロセスを記載すること。また、各回転モーメントや面内外せん断力に対する必要スタッド量の算定法について説明すること。	—	—	—
374	260306-19	別途回答		526	2026/3/6	中詰め鉄筋コンクリート内の面内外のせん断力については、どの解析モデルからの入力であるか明確化すること。	—	—	—
375	260306-20	別途回答		527	2026/3/6	補剛材の評価式について、道路橋示方書を参照しなくてもわかるよう図を用いてわかりやすく記載すること。	—	—	—
376	260306-21	別途回答		528	2026/3/6	補剛材の構造について、横リブ、縦リブの構造を明確にし、その位置関係や照査対象を記載すること。また、リブの厚さも記載すること。	—	—	—

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表
【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(5/7)

：今回回答 ：別途回答 ：回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所
377	260306-22	別途回答	532	2026/3/6	添接板の厚さやボルトの仕様について説明すること。	—	—
378	260306-23	別途回答	535、536	2026/3/6	アンカーボルトの断面力が、アンカーボルトの配置図とあわせて発生応力に対して抵抗するのを示すこと。	—	—
379	260306-24	別途回答	540	2026/3/6	鋼管杭の支持性能評価において、杭が押し込まれる側・引き込まれる側など当該図面だけ見てわかるよう示すこと。またプラントノースも示すこと。	—	—
380	260306-25	別途回答	542、543	2026/3/6	中詰鉄筋コンクリートの評価において、水平せん断力・回転モーメントに対して、どの鉄筋がどのように抵抗するか概念図で説明すること。	—	—
381	260306-26	別途回答	569	2026/3/6	鋼管杭の支持性能評価においては、引き抜き力に対しても照査結果を記載すること。	—	—
382	260306-27	別途回答	574-585	2026/3/6	地盤改良（セメント系）の内的安定評価において、局所安全係数分布図は最小値の表示と位置も示すこと。また地盤改良体の範囲も明示すること。	—	—
383	260306-28	別途回答	586	2026/3/6	異種構造物間の地震時相対変位量について、その算定方法の図化（x, y, zの座標系も含め）、算定方法（最大値の算定）を記載すること。また、5章には止水対策としての底部止水機構の記載があることを追記すること。	—	—
384	260306-29	別途回答	資料全般	2026/3/6	配置図・位置図において、方位を明示すること。	—	—
385	260313-1	別途回答	526	2026/3/13	中詰め鉄筋コンクリートと鋼鉄の一体化のためのスタッド評価において用いているせん断力や回転モーメント全てに対して設計上考慮しているのか、ねじりに係る力のみを考慮しているのか、プロセスを記載すること。	—	—
386	260313-2	別途回答	608	2026/3/13	（参考2）の鋼製防護壁基礎間に生じる地震時相対変位の影響については、実施プロセスや内容がわかりにくいので、概念図やフローを用いてわかりやすくすること。	—	—
387	260313-3	別途回答	608	2026/3/13	南基礎を対象に評価している理由を記載し、「天端間」は「南北基礎の天端間」と記載するなどわかりやすくすること。また、鋼管杭などの他部材を評価に取りいれていない理由を記載すること。	—	—
388	260313-4	別途回答	617	2026/3/13	鋼製防護壁基礎天端間の相対変位増分を8.1cmとしているが、図12では南基礎天端の変形量0.2cm、北基礎天端の変形量8.1cmと記載があるため、相対変位量について確認すること。	—	—
389	260313-5	別途回答	626-628	2026/3/13	照査結果表の白の範囲と桃色着色範囲の数値の根拠について、わかりやすく記載すること。	—	—
390	260313-6	別途回答	589	2026/3/13	減衰定数の設定については、（参考1）だけ見てもその目的や評価内容がわかるよう、前段の84pの減衰定数の設定法に記載のある内容も追記すること。	—	—
391	260313-7	別途回答	630	2026/3/13	SD685鉄筋使用範囲のひずみ評価結果については、補足説明資料28の4章防潮堤（鋼製防護壁）の接合アンカーに関する補足説明」ではなく、当該（参考3）への記載を検討すること。	—	—
392	260313-8	別途回答	632	2026/3/13	付着強度でSD590以下の記載が正しいか、確認して適正化すること。	—	—
393	260313-9	別途回答	641	2026/3/13	鉄筋定着長の実証実験の目的について明確に記載すること（基本定着長、低減定着長、補正係数などを踏まえて）。	—	—
394	260313-10	別途回答	646	2026/3/13	鉄筋定着長の実証実験において、最上段の鉄筋に着目した実証実験という記載が正しいか確認すること（供試体の中央の鉄筋配置との関係）。また、せん断補強鉄筋を考慮している理由を記載すること。	—	—
395	260313-11	別途回答	648-649	2026/3/13	抜けだし変位という用語をわかりやすくすること。	—	—
396	260313-12	別途回答	651	2026/3/13	オーバーラップモデルについては、FLIPでも適用性があるかという点で、参考文献を選定すること（FLIPマニュアルや他サイトも踏まえ）。	—	—
397	260313-13	別途回答	655	2026/3/13	北基礎の中実鉄筋コンクリートの根入れについては、中実鉄筋コンクリートの4隅の根入れ長を三次元的な地質断面図をもとに記載すること。	—	—
398	260313-14	別途回答	660	2026/3/13	スタッドに生じる「ずれせん断応力度」の算定手法や評価手法について、参照している指針類を含めてわかりやすく記載すること。	—	—
399	260317-1	今回回答	1-2	2026/3/17	「1.1はじめに」の冒頭の記載について、主語を明確にして文章を適正化すること。また、実施の目的として他プラントの事例（セメント改良土の残地が杭基礎構造物の杭頭部にあったことで、地震時に杭頭部が損傷した事例）も考慮して確認することを追加すること。概念図もあるとわかりやすい。	2026/4/10	冒頭文章の主語を明確にするとともに、実施目的に関しては、他サイトの杭の損傷事例（図を含む）を例示しつつ、影響評価の必要性について記載した。
400	260317-2	今回回答	1-1	2026/3/17	「1. 概要」の位置を適正化すること。	2026/4/10	第1章タイトル「1. 概要」を適切なタイトル「周辺施設への影響検討に係る基本方針」に適正化した。

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表
【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(6/7)

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号		対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所	
401	260317-3	今回回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料29（防潮堤（鋼製防護壁）の周辺施設への影響に関する補足説明）2/20提出版	1-2	2026/3/17	防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更後に地盤改良体の追加が必要になった理由を記載すること。	2026/4/10	「地中連続壁部を使用しないことで不足する基礎の剛性・耐力を確保するための対策として、基礎の周辺地盤に対し、地盤改良体等を新たに設置する計画である」旨を記載した。	補足説明資料29：P1-2
402	260317-4	今回回答		1-6 1-7	2026/3/17	津波評価のうち、特に余震荷重に対する影響検討の要否について、わかりやすく記載すること。	2026/4/10	施設及び設備の強度評価（津波評価）について、耐震評価と強度評価に構成を分けたうえで、強度評価の項目の中で、実施しない旨をわかりやすく記載した。	補足説明資料29：P1-17～19
403	260317-5	今回回答		1-7	2026/3/17	「b.設備の強度評価」の記載文中に”単純梁に津波及び余震荷重を載荷して評価”とあるが「単純梁」を適正化すること。概念図を加えてもよい。	2026/4/10	津波荷重及び余震荷重を等分布荷重又は集中荷重として単純梁モデルに載荷し、材料力学に基づく理論式による手計算にて強度評価を実施している旨を概念図とともに記載した。	補足説明資料29：P1-18
404	260317-6	今回回答		1-11	2026/3/17	影響検討施設に対して追加地盤改良体が概ね対称に配置される場合、地盤ケース①を選定する理由について改めて説明すること。	2026/4/10	追加地盤改良体の対称性に着目した影響検討ケースの選定手法はとり止めることとした。	補足説明資料29：P1-10
405	260317-7	今回回答		全体	2026/3/17	「推定最大値」という記載は印象的に不適当であるため、「影響評価の最大値」などに適正化すること。	2026/4/10	記載を「影響検討の最大値」に適正化した。	補足説明資料29：全体
406	260317-8	今回回答		全体	2026/3/17	「評価基準値」という記載は他の資料とあわせて”許容限界”などに適正化すること。	2026/4/10	記載を「許容限界」に適正化した。	補足説明資料29：全体
407	260317-9	今回回答		1-14	2026/3/17	選定フローの地震動枠の記載にある「選定根拠」の内容を適正化すること。必要に応じて削除することも含めて検討すること。	2026/4/10	影響検討ケースの選定フローにおける文章等を適正化しました。	補足説明資料29：P1-12, 1-14
408	260317-10	今回回答		2-9	2026/3/17	選定フローの字が小さすぎるため適正化すること。	2026/4/10	選定フローを大きくして表示した（各章でも同様に修正）。	補足説明資料29：P2-10, 2-11
409	260317-11	今回回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料29（防潮堤（鋼製防護壁）の周辺施設への影響に関する補足説明）2/20提出版	参考2-1 参考2-5 参考2-14	2026/3/17	施設評価における既工認時のケース選定手順と、取水構造物の影響検討の選定ケース表が整合していないと思われるため理由を記載すること。また、防潮堤（鉄筋コンクリート防潮壁）の曲げ軸力照査表で、横車を通して地地震波が2つあることについて理由を記載すること（手順と整合しないケース全般）。	2026/3/25	基本ルールと異なる箇所については、その理由を追記した。	補足説明資料29：P参考1-9
410	260317-12	今回回答		参考2-1	2026/3/17	施設及び設備評価における既工認時のケース選定手順の照査値表に最大照査値箇所を明示するなどして、わかりやすくすること。	2026/3/25	最大照査値箇所がわかるよう記号で表示するとともに、解説文を追記した（参考2に記載していたが、内容が既工認の説明であるため参考1に記載場所を変えた）。	補足説明資料29：P参考1-9、参考1-11
411	260317-13	今回回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料29（防潮堤（鋼製防護壁）の周辺施設への影響に関する補足説明）2/20提出版	参考4-3	2026/3/17	屋外二重管の評価において、管周方向断面の照査で今回Ss-31(++)を選定しているが、その選定理由が上段文章から明確に読み取れないため記載を適正化すること。また、下段の照査値一覧表についても誤解を与えないよう併せて記載を適正化すること。	2026/4/10	管周の評価における検討ケースの選定方法と選定結果が分かるように照査値一覧表とあわせて記載を適正化した。	補足説明資料29：P参考4-3
412	260317-14	今回回答		参考4-3	2026/3/17	屋外二重管の評価において、管周方向の断面で抽出したひずみを管軸方向断面で用いて照査を行っているが、当該照査の考え方や準拠規準について記載すること。	2026/4/10	既工認と同様、評価の考え方と準拠規準（「港湾の施設の技術上の基準・同解説（日本港湾協会、2007）」及び「水道施設耐震工法指針・解説1997 版（日本水道協会、1997）」）を追記し、管軸方向の応力解析概念図を記載した。	補足説明資料29：P参考4-3
413	260317-15	今回回答		参考4-4	2026/3/17	（以下「推定最大値」という）という記載を適正化すること。	2026/4/10	記載を「影響検討の最大値」に適正化した（表タイトルなど）。	補足説明資料29：全体
414	260327-1	今回回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料27（防潮堤（鋼製防護壁）の設計変更に係る補足説明）3/19提出版	3-174 3-176	2026/3/27	配合試験で実施した液状化強度試験の供試体を粒度調整を実施した理由を補足説明資料に記載すること。また、粒度加積曲線の赤線と粒度加積曲線の黒線との関係を説明すること。また、粒度調整後の試験供試体が保守的な設定になっているのか説明すること。	2026/4/10	現地に採取した配合試験に用いた試料の粒度加積曲線は、周辺土質の粒度分布の範囲内に位置しており、当該箇所を代表できる粒度分布であることを記載した。 また、試料の粒度加積曲線は、液状化強度試験箇所（液状化しやすい箇所）の粒度分布と液状化のしやすさの点では同等であり、薬液注入効果（浸透性）の観点では保守的となっている旨、記載した。	補足説明資料27：P3-180～188
415	260327-2	今回回答		3-228	2026/3/27	添付資料VI-1-5-1の引用番号の間違いを適正化すること。また、添付資料から引用している表3-5検査項目、検査概要及び判定基準の考え方について（代表例）」を補足説明資料にも転記すること。	2026/4/10	引用番号を用いない表現に見直した上で、引用している表3-5を転記しました。	補足説明資料27：P3-221, 222
416	260327-3	今回回答		3-229	2026/3/27	下から6行目 ※→※ に適正化すること。	2026/4/10	適正化しました。	補足説明資料27：P3-223
417	260327-4	今回回答		3-229	2026/3/27	下から8列目の「壁面整形工の吹付け後の形状」の内容とその理由を記載すること。	2026/4/10	「壁面整形工」欄の「吹付け後の形状（中実鉄筋コンクリートの寸法）」にて検査項目を示しているため、当該行は削除しました。	補足説明資料27：P3-223
418	260327-5	今回回答		3-230	2026/3/27	表3.6-55の下から4及び6行目の文字が中央揃えになっているため適正化すること。	2026/4/10	適正化しました。	補足説明資料27：P3-224
419	260327-6	今回回答		3-233	2026/3/27	表3.6-58で地盤改良の全体検査とは何を立ち会うのか、具体的に記載すること。	2026/4/10	項目を「掘付状態を確認」と修正し、方法等を具体的に記載しました。その他の工程においても、当該検査項目を記載することが適切である工程へ同様に追記・修正を行いました。	補足説明資料27：P3-226

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表
【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(7/7)

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所		
436	260330-11	今回回答	東海第二発電所設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）3/19提出版	29	2026/3/30	⑱「…について」が2回出てくるので、適正化すること。 また、「シリカ含有量試験（ICP発光分光分析法）」の準拠基準を明確化すること。	2026/4/8 2026/4/10	・「について」の文章は記載を適正化した。 ・「JIS K0116:2014」に準ずる旨記載しました。	審査会合資料：P29 補足説明資料27：P3-172
446	260330-21	今回回答		3-2	2026/3/30	「はらみ出し」、「可視化」について記載を適正化すること。	2026/4/10	「可視化」等の記載を削除し、原因の要点を記載した。	補足説明資料27：P3-2
447	260330-22	今回回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料27（防潮堤（鋼製防護壁）の設計変更に係る補足説明）3/19提出版	3-52	2026/3/30	②図において、鋼管杭から頂版鉄筋コンクリートに延びる鉄筋も記載を行うこと。	2026/4/10	①図に鋼管・巻立て鉄筋コンクリートの鉄筋を追記した。	補足説明資料27：P3-51
448	260330-23	今回回答		3-53	2026/3/30	⑤図の解説文で、アンカーボルトのナットを締めて上部工（鋼殻）と頂版鉄筋コンクリートを直接接合する旨を記載すること。	2026/4/10	⑤図に鋼製防護壁基部をアンカーボルトのナットで締めて頂版鉄筋コンクリートと直接接合する旨、加筆した。	補足説明資料27：P3-52
449	260330-24	今回回答		3-234	2026/3/30	「構造変更後」という記載は防潮堤基礎の構造変更であることがわかるよう適正化すること。	2026/4/10	本文中に「防潮堤基礎構造変更後」との記載に見直した。	補足説明資料27：P3-255
450	260330-25	今回回答		3-235	2026/3/30	「既施工構造物」を「既設構造物」に適正化すること。	2026/4/10	「既設構造物」に変更した。	補足説明資料27：P3-256
451	260330-26	別途回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料27（防潮堤（鋼製防護壁）の設計変更に係る補足説明）3/19提出版	3-235 3-236	2026/3/30	参照する図・表のページが遠すぎてわからないものは再掲すること。	—	—	—
452	260330-27	今回回答		3-237	2026/3/30	表3.6-59耐震評価における検討ケースについては、既工認と今回で分けて比較できるように記載すること。	2026/4/10	既工認と今回工認を分離し、表3.6-47と48に分けて記載した。	補足説明資料27：P3-258, 259
453	260330-28	今回回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5 回申請 補足説明資料27（防潮堤（鋼製防護壁）の設計変更に係る補足説明）3/19提出版	3-238	2026/3/30	表3.6-61, 62については、既工認モデルと今回モデルで分けて記載すること。	2026/4/10	既工認と今回工認がわかるように表3.6-49, 50, 51の追加または修正を行った。	補足説明資料27：P3-260
454	260330-29	今回回答		3-141	2026/3/30	「要」「否」の記載含め、想定される事象に対する一次評価表について、説明性向上のため記載を適正化すること。	2026/4/10	想定リスクの検討結果の記載を拡充した（参考資料に出典元を追加した）。	補足説明資料27：P3-162～166 補足説明資料27：P3-231～250
494	260413-1	今回回答		20	2026/4/13	危険側の比率になっているのではないかと地盤ケース④同士を比べれば今回が小さくなるのはわかるが、最初のフローと比べて、地盤ケース①で比較しないことが妥当といえるか？今回のフローを精緻な結果とすることや他の実施ケースを補足説明資料に記載すること。	2026/4/28	取水構造物にて地盤ケース①により算出した比率や評価結果を例示的に示す。	補足説明資料29：P参考6に今後反映
495	260413-2	今回回答		57	2026/4/13	ICP発光分光分析に係る説明書きを、補足288pのようにパワーポイント資料にも記載すること。	2026/4/23	ICP発光分光分析に注釈をつけ、欄外に補足288の記載を追記した。	審査会合資料：P58
496	260413-3	今回回答	東海第二発電所設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）4/10提出版	62	2026/4/13	代表性は79p, 網羅性は80pと引用書きをすること。	2026/4/23	配合試験の試料の代表性、保守性についてP80, P81を参照するよう追記した。	審査会合資料：P63
497	260413-4	今回回答		62	2026/4/13	30m間隔のボーリングの保守性に係るJEA4601の記載は、補足説明資料にも同様の記載をしておくこと（270p）。	2026/4/23	補足説明資料にも同様の記載を行った。	補足説明資料27：P3-162
498	260413-5	今回回答		68	2026/4/13	「メンテナンス時の代替機として準備する」は、一般的にもやると思われるため「・・・計画をする・・・」などの記載に変更すること。	2026/4/23	一般工事での対応について「施工時に必ずしも代替機を準備する計画とは限らない」に記載を見直した。	審査会合資料：P69
499	260413-6	今回回答		72	2026/4/13	欄外の記載のレイアウトを工夫して修正すること。	2026/4/23	欄外の記載について、レイアウトを工夫し、記載場所を見直した。	審査会合資料：P73ほか
500	260423-1	別途回答		39	2026/4/23	原電として不具合を起こさないようにどのように施工管理・品質管理をしようとしているのか具体的な取り組みを補足説明資料にまとめること。	—	—	—
501	260423-2	別途回答	東海第二発電所設計及び工事計画に係る説明資料（防潮堤（鋼製防護壁）の構造変更）4/23提出版	39	2026/4/23	施工品質に関しては、QMSを正しく機能させることが重要であり、原電自身の取り組みとして、その仕組みの構築及びその仕組みを機能させるための方法について補足説明資料に記載すること。	—	—	—
502	260423-3	別途回答	注）審査会合のコメントであるが、補足説明資料に反映する旨のコメントのため、本リストで管理する。	77	2026/4/23	使用前事業者検査での留意事項（補足説明資料に記載すること） ・検査位置については、分散配置を適切に行い、品質検査に偏りがないようにすること。 ・構造物直下の地盤改良と薄い地層の地盤改良の検査について、これらの箇所は施工が通常の箇所より難しいと想定されることから、十分に改良されていることを適切に検査すること。	—	—	—